茨城の古民家再生

すまいと共に
昔の気持ちを
つないでいく仕事。

吉田建築計画事務所の仕事 2015

古民家再生物件

1. Café Hanana
2. Su 邸
3. Mi 邸
4. Hi 邸
5. Ta 邸
6. Ma 邸
7. Na 邸
8. Tu 邸
9. K 旅館
10. I 邸
11. Mi 邸
12. Ta 邸
13. Su 邸
14. Su 邸
15. Ta 邸
16. O 邸（工事中）
17. To 邸（工事中）
18. Fu 邸（工事中）
19. Si 邸（工事中）
20. U 邸（工事中）

古民家調査物件

1. E 邸
2. Ha 邸
3. Oo 邸
4. Nu 邸

あまり知られていませんが、茨城県内には江戸末期から昭和初期に建てられた、良質な木組みによる魅力ある古民家が数多く残っており、今も大切に使われています。そうした中、その保存や活用方法に苦慮されている方々が多いのも事実だと思います。

未曾有の東日本大震災を経験し、地域コミュニティーの大切さを再認識させられた中で、各地域の暮らしや風土を今に伝え、美しい原風景を作ってきた民家は、改めて「地域の大切な存在」として認識が広がりつつあると感じます。

再生事例の多くは、先祖の建てた家を世代交代して住み繋ぐ、現地再生がほとんどです。昔の雰囲気を残しつつ、現代の生活に必要な機能やデザインを訴求する再生の提案をしています。

また、住みよい民家再生のための工夫として、歴史ある町並みの景観を保ちながら、地域的な面からの生活環境を提案することも大切です。その為の、様々な外構デザインのあり方についても取り組んでいます。

弊社では、これまでの実績を元に、古民家再生によって安全で快適かつ健康的に暮らせる木の家をご提案いたします。誰もが懐かしさや温もりを感じる古民家を一棟でも多く再生し、次世代へ継承して行くお手伝いをしていきたいと思っています。

吉田 良一 一級建築士

関東学院大学卒。マトリックス都市建築設計事務所を経て、1994年吉田建築計画事務所設立。2009年茨城建築文化賞（住宅部門）。2011年いばらき建築環境プロポーザル入選。2012年茨城建築文化賞（リフォーム部門）。2012年いばらきデザインセレクション選定。2013年 茨城建築文化賞入選。2014年 いばらきデザインセレクション知事選定。2015年茨城建築文化賞（リフォーム部門）。

小田の家

つくば市

伝統のしつらえとモダンライフの融合

建物は小田城址の西側に位置し、周囲には土蔵や古い民家の残る歴史ある集落内に建っています。
昭和3年築の母屋と、震災で被災した明治創建の土蔵の再生を行いました。
民家の大切な特徴を残しつつ、明るく、風通しの良い室内環境をつくり、インフラの充実や耐震補強、
毎日の家事が楽になる動線やバリアフリーなど、機能的で快適な暮らしができるよう再生しました。
趣味の部屋や書斎、隠れ家のような小屋裏等、家族が思い思いに過ごせる居場所づくりも。

北太田の家

つくば市

黒船来航より160年の時を刻み、未来へ住み継がれる

黒船来航の前年の1852年（嘉永五年）に、本家住宅の建替えの際の古材を譲り受けた古民家。
この歴史ある建物を創建時から160年が経った今、4世代の家族が暮らす現代住宅として再生しました。
古民家の持つ素朴さや伝統的な技を活かしながら、居住性や耐震性、省エネ対策を充分に備えています。
古材に残る手仕事の跡や生活の香りが、現代の暮らしに懐かしさや温もりを与えてくれます。
また、新しい材料には県産材の杉・檜、漆喰等の自然素材を使用しています。

与沢の家

小美玉市

生業と共に刻まれた歴史、手斧削りの美しい梁組み

造園業として樹齢百年を超える巨木を扱う施主は、
家業と共に、祖父の建てたこの古民家を引き継ぎ、仕事場と自宅に再生することを選びました。
白い漆喰と黒く塗られた鄙子下見板張りの品格のある美しさ。玄関を入ると重厚な梁組みが目に飛び込んできます。
洗い出しの土間部分は打ち合わせスペース。目隠しの衝立には、丸く抜かれた明かり取りと障子をあつらえています。
壁に使用した素朴な色の珪藻土が、空間全体をやわらかい雰囲気で包んでいます。

Café Hanana（はなな）

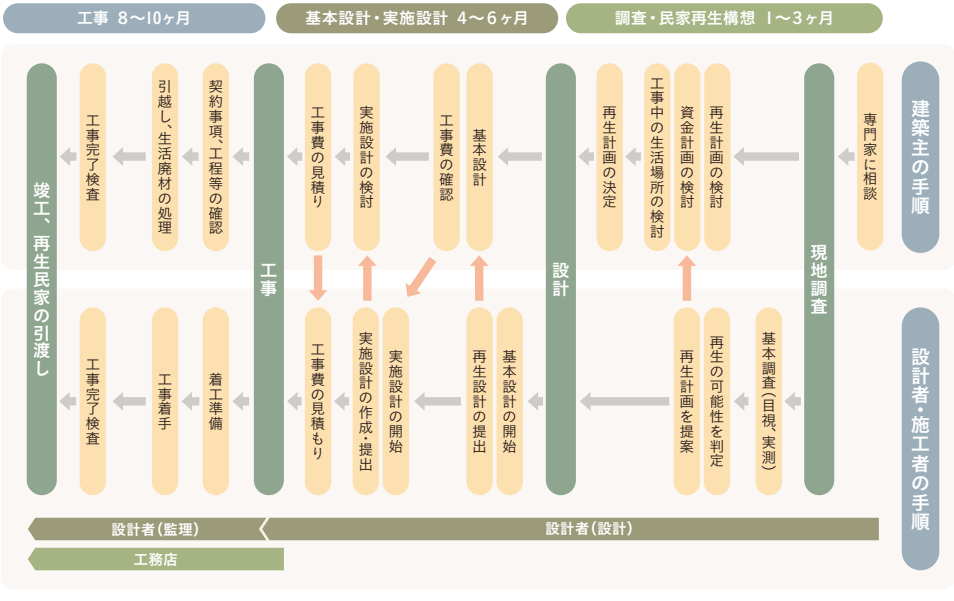
かすみがうら市

土間のあるノスタルジックな、カフェ＆ピザの店

農村での暮らしを求めていた施主が、空き家となっていた古い農家の納屋を購入し、
住宅兼カフェ＆ピザのお店にリノベーションしました。
建物全体が黒と白のコントラストを奏で、どことなくモダンさとノスタルジックな感情が交差します。
農村ならではの素朴で温かく懐かしさを感じる室内空間と、立木や草花に包まれた季節感溢れるガーデン。
ここに住まう人も、訪れた人も、ゆったりと、こころ豊かな時を過ごすことのできる空間です。

左／笠間の家、吹き抜けの天井に 200 年の時を経て古材の梁がよみがえる。**右**／M邸、大阪格子戸など古い建具も修理をして再利用。

古民家再生の流れ



有限会社
吉田建築計画事務所
一級建築士事務所

お問い合わせ
0120-922-416

メールアドレス
info@iezukuri.co.jp

詳しくはHPをご覧ください
吉田建築計画事務所

本社：〒315-0001 茨城県石岡市石岡 1-1-8 TEL.0299-56-3246 ／ つくば事務所：〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6 TEL.029-854-0203